

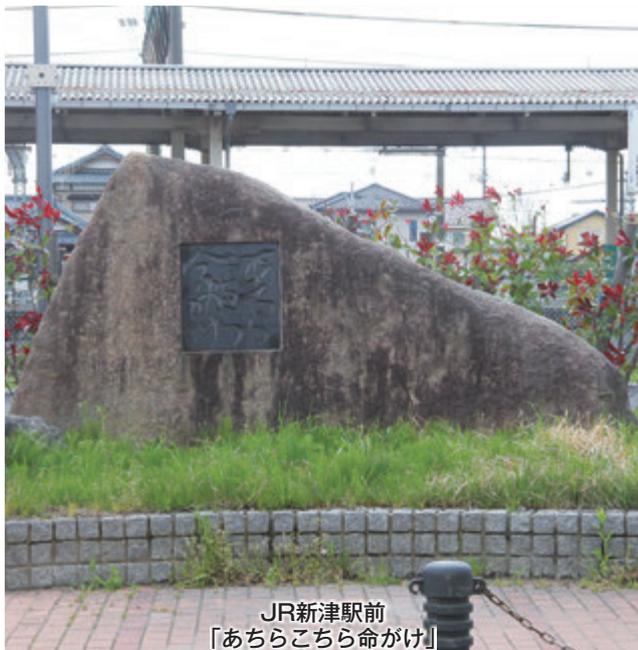
東洋大学校友会
新潟県支部会報
第32号

平成28年 8月21日発行

南水

発行
東洋大学校友会新潟県支部
発行者 斎藤 淳
発行所 〒959-1811
五泉市三本木3-1-6
TEL 0250-43-1289
印刷・製本 株式会社 本間印刷所

郷土・母校の文豪坂口安吾の石碑縁の地を訪ねて No.2



JR新津駅前
「あちらこちら命がけ」



旧市長公舎 安吾風の館
西大畑

●●● 巻頭言 あいさつ ●●●



支部長 斎藤 淳
S53年法学部法律学科卒

東洋大学校友会新潟県支部の皆様には、ご清祥のこととお喜び申し上げます。昨年の総会で支部長に選出され、この4月から支部長の任にあたっております。植木支部長の後をしっかり引き継いで支部の活動を皆さんとともに進めてまいります。どうぞよろしく願い申し上げます。

さて、最近の母校は、箱根駅伝の活躍やリオデジャネイロオリンピックで活躍が期待される陸上の桐生選手・ウォルシュジュリアン選手・松永選手、競泳の萩野選手、内田選手などスポーツ面で大変な脚光を浴びています。

また、母校は来年、創立130周年の節目を迎えますが、現在、学祖円了博士の志を継承し、「哲学教育」「国際化」「キャリア教育」に力を入れ学生一人ひとりの能力を磨き上げています。あわせて、国際学部や国際観光学部、文学部の国際文化コミュニケーション学科などの新たな学部・学科の開設を目指し、グローバル人材、の育成へ大きな一歩を踏み出そうとしています。

こうした母校・東洋大学の取組みは受験生に支持され志願者数は2年連続8万人を越えました。受験生数では私大の中で7位の人気大学と言えます。こうした母校の成長・発展、学生の皆さんの活躍を卒業生として誇りに思うとともに、そのことで、本当に元気づけられ、勇気づけられる思いです。

ところで、我々の校友会活動ですが、この5月に任期満了に伴う会長・副会長選挙があり、羽島会長、村瀬副会長・武田副会長が選出されました。羽島会長の手腕に期待するとともに、再選された会長には、引き続き選挙を通じて寄せられた様々な意見を踏まえ、今後の校友会の舵取りをお願い申し上げます。

新潟県支部は、学祖井上円了博士の出身地であり、1896(明治29)年に設立され120年の歴史を刻んできた最も活動歴の長い支部の一つであります。時々その役割を果たし、活躍してきた先輩から順次バトンを引き継いで今日の活動があります。時代とともに大学は大きく発展してきました。校友の意識も多様化して来たように思います。歴史を大切にしながらも、未来志向で、校友会に求められる活動を皆さんとともに築いてまいります。

最近の校友会は、会費納入率の低下、総会参加者の高齢化など様々な課題もあります。全国の校友会活動を新潟支部がリードする気持ちで支部体制を強化し、全国に誇れる活動を校友の皆さんと一丸となって進めていきましょう。支部あつての校友会、一人ひとりの校友が活きる校友会活を目指して行きます。

今後とも、校友会新潟県支部の活動に皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成27年度 第84回総会 上越にて開催

平成27年8月30日 新潟県教職員互助会館 高陽荘



植木支部長挨拶と来賓の飯吉城西支部長（左）と市島雨水会新潟支部長



乾杯をする安藤顧問



校歌斉唱を応援団風に、田邊氏



総会と懇親会の合間の二胡の演奏

支部総会会務報告 司会進行 山崎次男

- 1. 開会 小島正弘
 - 2. 物故者への黙禱 山崎次男
 - 3. 支部長挨拶 植木 宏
 - 4. 祝辞 市島清貴 様
 - 5. 祝辞 飯吉伸一 様
 - 6. 議長選出
 - 7. 議事
 - ①平成26年度会務報告 米山康久
 - ②平成26年度会計報告 石田秀男
 - ③平成26年度監査報告 中川一成
 - ④平成27年度事業計画案 米山康久
 - ⑤平成27年度予算案 石田秀男
 - ⑥役員改選（支部長） 選考委員の選出
 - ⑦選考委員長結果報告 米山康久
 - ⑧新支部長挨拶 斎藤 淳
 - ⑨その他
 - 8. 閉会 石田秀男
 - 駅伝（山古志合宿）激励の報告 植木 宏
 - 9. 記念写真
 - 10. 懇親会 司会進行 米山康久
 - 開宴の言葉 植木 宏
 - 乾杯 安藤良顕
 - 宴会 懇談 自己紹介など
 - 校歌斉唱 田邊正臣
 - 万歳三唱 内田美磋子
 - 閉宴の言葉 小島正弘
- 新潟県支部校友会員の皆様、本当に有難うございました。

平成27年度 東洋大学校友会新潟県支部収支計算書

(自:平成27年4月1日~至:平成28年3月31日)

Table with columns: 科目, 予算額, 決算額, 増減, 摘要. Includes sub-sections for 収入の部 and 支出の部.

Table with columns: 科目, 予算額, 決算額, 増減, 摘要. Continuation of the financial statement.

上記のとおりご報告いたします。平成28年4月6日 支部長 植木 宏 監査 中川 一成

平成27年度 会務報告

平成27年

- 4月5日(日) 会報「甬水」第31号編集会議(上越市、関係者)
5月23日(土) 全国支部長会議(植木支部長)
5月31日(日) 県支部総会の打合せ(上越地区役員会、原案作成ほか)
6月6日(土) 学祖祭(97回忌)東京蓮華寺(植木支部長、石田会計部長)
6月7日(日) 東京城西支部総会(植木支部長、石田会計部長)
6月27日(土) 県支部第1回役員会(年間計画協議)
6月27日(土) 県支部第2回役員会(総会の細部検討、上越事務局)
8月2日(日) 甬水会新潟支部総会(齋藤下越地区事務局長)
8月19日(水) 「山古志合宿」激励訪問(植木支部長、小島副支部長、石田会計部長)
8月22日(土) 支部総会最終打合せ(上越事務局)
8月30日(日) 第84回新潟県支部総会(上越市、参加48人)「甬水第31号」発行
9月6日(日) 県支部第3回役員会(「甬水」発送425通=担当上越)
9月23日(水・祝) 村上町屋巡り(参加者15人)福島副会長参加
10月3日(土) 米百俵まつり
10月18日(日) 大学対抗ゴルフ大会(上越地区)
10月25日(日) レディースクラブ「女性の集い」(三条下田地区漢学の里、参加7人)
12月6日(日) 県支部第4回役員会:懇親会(平成27年度の総括と反省)

平成28年

- 2月17日(水) 新潟安吾忌
2月28日(日) 県支部第5回役員会(下越地区へ事務引継ぎ)

その他 ・校友会バザーに協力
・各地区別会議

平成28年度 東洋大学校友会新潟県支部収支予算書(案)

(自:平成28年4月1日~至:平成29年3月31日)

Table with columns: 科目, 平成28年度予算案(イ), 平成26年度予算額(ロ), 平成27年度決算額(ハ), 増減(イ-ロ), 摘要. Includes sub-sections for 収入の部 and 支出の部.

Table with columns: 科目, 平成28年度予算案(イ), 平成27年度予算額(ロ), 平成27年度決算額(ハ), 増減(イ-ロ), 摘要. Continuation of the budget statement.

平成28年度 事業計画案

(平成28年4月1日~平成29年3月31日)

1 活動計画

平成28年

- 4月29日(祝・金) 県支部第1回役員会(新役員体制・年間事業計画協議)
5月19日(木) 校友会長・副会長選挙:投票締切5/13(金)~平成28年度支部長会(支部長出席)
5月21日(土) 校友大会、平成28年度女性連絡会総会(支部長、大河内出席)
5月22日(日) 県支部第2回役員会(支部総会などを協議)
6月5日(日) 参考:学祖祭
6月6日(月) 城西支部総会へ参加
7月3日(日) 甬水会新潟県支部総会
8月13日(土) 校友会総会出席締切
8月21日(日) 校友会新潟県支部総会
8月25日(木)~28日(日) 陸上競技部「山古志合宿」激励訪問
9月4日(日) 県支部第3回役員会(下越地区で甬水発送)
10月8日(土) 安吾生誕110周年事業
米百俵まつり
10月9日(日) 参考:平和記念の碑に集う会
10月16日(日) レディースクラブ「女性の集い」(柏崎市 ドナルド・キーン・センター柏崎)
大学対抗ゴルフ
10月23日(日) 参考:ホームカミングデー
11月5日(土) 哲学堂祭
11月5日(土)~6日(日) 大学祭
11月27日(日) 県支部第4回役員会(年間活動の総括など、忘年会)

平成29年

- 2月17日(金) 第29回新潟安吾忌
逐次 各地区別会議、イベント

2 会員相互の親睦

総会、忘年会、地区別会議及びゴルフなど各種会合・催物を開催

❖❖❖ 校友大会報告 ❖❖❖

支部長会雑感

S55年経営学部経営学科卒 阿部 吉弘

去る5月21日に開催された校友会の支部長会と校友会に参加してきた。今回の支部長会最大の懸案事項は現役学生からの代理徴収廃止に伴う事業収入の著しい減収をいかにして補うか、であることは言を俟たない。校友会とは東洋大学卒業生が世代を超えて付き合える親睦会である。と同時に、大学（法人）と甫水会と三位一体となって母校の隆盛、発展に寄与するものとする。

羽島会長の提唱する「会費を払ってでも参加したい校友会」作りには多に賛同を示すが、支部長会

でその具体的な方策や指針とかが提示されなかったのは残念であった。

我々も単に役員任せでなく、我々自身が会費納入会員（特に平成に入ってから卒業した会員）を増やす不断の努力を継続していかなければならないと思う。

個人情報保護の観点から会員の情報が大学から得られなくなった現在においては、口コミによる情報収集を丹念に行うことが一地味ではあるが一会費納入会員を増やす唯一の方策かもしれない。また執拗にならない程度にフェイスブックやツイッターなどSNSでダイレクトに勧誘してみるのも一つの手かもしれない。



平成28年度 東洋大学校友会 女性連絡会総会 参加報告

S54年大学院文学研究科(修士)修了 大河内 邦子

平成28年5月22日（日）午前11時より、東洋大学甫水会館3階会議室において、「平成28年度 東洋大学校友会女性連絡会総会」が開かれました。

会に先立って、3月26日の運営委員会で選出され、4月24日の役員会で決定された役員の紹介があり、総会においてもこの案についての承認が行われました。

新会長の岡部奈緒美氏は、昭和57年経済学部卒業で、埼玉県西部支部の支部長も務めていらっしゃいます。若く意欲的なご挨拶が、参加者を魅了していました。

議事は、平成27年度事業報告・決算報告、平成28年度事業計画（案）・予算（案）と続き、規約改正（案）まで順次承認が行われました。特に、規約中の「女性連絡会の活動基盤のブロック化の推進」については、ブロックのサイズ・予算の問題とともに今後意見を集約していくとのことで、今後の動向が注目されます。

レディースクラブだより

平成27年度レディースクラブ「女性の集い」が開催されました

S52年法学部経営法学科卒 高崎弘子

平成27年10月25日（日）にレディースクラブ「女性の集い」を三条下田地区、漢学の里で開催いたしました。

「女性の集い」としては、8回目となり、初めての方も含め7名の参加をいただきました。

当日は、肌寒い日でしたが、漢学の里では秋の大感謝祭が開催されており、フリーマーケットや農作物の販売などで、たくさんの方々が楽しんでいらっしゃいました。私達はというと、行きのジャンボタクシーの中から、すでに久しぶりに会った会員の皆さんの会話で熱気すら感じられました。

今回は、庭月庵悟空農家レストランでのバイキング昼食で、20種類ほどの山菜や煮物やデザートに舌つづみを打ちました。食事の後は、世界的な偉業と讃えられている「大漢和辞典」を編さんした諸橋轍次博士の遺品や遺墨などを所蔵、展示している記念館を見学しました。

彩遊記では、農産物や特産物を買求め、秋の半日を楽しみ、教養を深めるいい思い出ができたと思っておりました。来年は、柏崎方面へかけるのはいかがでしょうかと今から盛り上がりました。今年以上の女性会員の方の参加をお待ちいたしております。



▲見学してきた諸橋轍次記念館



▲諸橋轍次先生の像の前で

平成28年度レディースクラブ「女性の集い」へのご案内

本年度のレディースクラブ「女性の集い」を下記の日程で計画いたしました。校友の皆様多数の参加をお待ちしています。

1. 日時 10月16日（日） 10：30～17：00
2. 場所 柏崎地区
3. 集合 柏崎駅（長岡発9：48 柏崎着10：31）
4. 見学
 - ドナルド・キーン・センター柏崎
 - ホテルサンシャイン レストラン日本海で昼食
 - えんま堂
 - 小さな絵本館サバト
 - 松雲山荘、木村茶道美術館
 - 柏崎駅前の銘菓店での買い物
（柏崎発17：09 長岡着17：52）

5. 会費 3,000円（当日、徴収させていただきます）

※出欠は、8月31日まで

電話・ファックス 0258-35-3346

携帯電話 090-3044-5005

レディースクラブ事務局長 高崎弘子へお願いします。



▲紅葉の名所 松雲山荘

上越だより

剣道との出会いと顧問と人生

上越市剣道連盟理事
S44年文学部史学科卒 田邊正臣

昭和44年東洋大学を卒業し母校「関根学園高校」に勤務。最初は大学で少しやっていた応援団の顧問として、野球部の応援として生徒を引率する。柔道も少しやっていた。しかし、30歳の時、剣道との出会いがあった。

それは関根学園で剣道の顧問をやってほしいとのことであった。

私は体育の先生にやってほしいと言いましたが、体育の先生方は、全部顧問をやっており「白羽の矢が立った」のが私であった。剣道は全然やった事がなく不安であったがやる事にした。



▲剣道場での田邊氏

高校3年生の大浜 克君（現在剣道上越副理事長）に切り返し等教えてもらい、50年初段、51年に弐段、53年に参段、55年四段、60年に五段になり、毎日放課後生徒との稽古。そして子供が剣道をやり始めたのがきっかけで、今まで以上に学校とそれが終わってから週2回大町小学校で息子の稽古で、家では「剣吉」

（剣道きちがい）と呼ばれるようになった。

私は剣道との出会いで変わることが出来た。剣道は人を変える事のできるすばらしい武道である。

しかし、なかなかスムーズにはいかなかった。六段を取得するために努力していたが、柔道をしていた為か、なかなか足がきちんと前にでない。足をそろえていれば、柔道はすぐ足ばらいでたおれてしまう。その為か、そろえるのがむづかしい。その上、このころから剣道では予備審査があり、それに合格しないと本審査（東京・京都・名古屋）には行けない。その予備審査には全部不合格という事で、その審査には行けなくなってしまった。そんな時、元気をもらったのが二つある。

その一つは、57年～59年、3年間関根学園剣道部女子を北信越まで出場させた事である。

白井春恵（旧姓 堀）と渡辺俊子（旧姓 会沢）。この2人は、中学生の県大会で1位と2位が、我が関根学園に入学してくれた事である。その他3人も入学して、1年の時から優勝候補であった。

堀は1年の時、BSN大会個人3位、又、2年の時BSN大会で個人優勝してくれた。しかし、その期間中、県から練習試合等で参加させてもらったが、

悪い所を他の監督に見やぶられてしまったのが2年の時わかった。

それからあと1年であったが一生懸命頑張り、県大会ではあと一歩で優勝した学校に準決勝で2対3の惜敗してしまった。優勝した先生が、あとで全国でも剣道で知られている左沢高校へ生徒をつれていってもらった。

30チーム以上集まり、インターハイ出場校も10校以上あったが、関根学園は13勝7敗と活躍してくれた。

その二つは、息子が明訓高校へ行くようになり、2年の時から大将までやり、私自身も毎週の様に明訓に行くようになった。保護者の副会長という事もありいそがしい毎日になった。3年の時、高志高校と決勝あたり、代表戦で20分間戦い勝利しインターハイまで行く事が出来た。インターハイ会場で愛媛まで応援に行きましたが、決勝トーナメントに本数1本たりず決勝トーナメントに進出することは出来なかったのが残念であった。

その会場にすごい選手がいるのが、内村選手（現、警視庁）であり、あまりの強さにビックリで帰って来ました。

内村選手は全日本3回優勝、昨年5月の世界選手権のキャプテンとして活躍しました。

いま自分自身の目標は、何とかして六段になる事と、生徒等に教えられることがあれば真剣に取り組みたい。

ただ心配なのは、このごろ腰と肩がいたくなりコルセットを必要としている為、目標を達成出来るかどうか！心配である。

剣道を通して仲間がたくさん出来ればいいな一と思っている。剣道に出会って「よかった」し又、「顧問をもってよかった」と思っている。

関根学園で教員生活47年、そして、生徒として3年間、合計50年も関根学園に教え学んだので、今年で最後だと思っている。

今年で71歳、1週間に4回は稽古に行っている。ほんとうに剣道はすばらしいと思っている。

まだ剣道を始めて40年である。これからも剣道に一生懸命頑張っていく為の人生かも知れない。



▲上越の総会で校歌を歌う田邊氏

中 越 だ よ り

第三回新年会兼箱根駅伝総合準優勝を祝う会

副支部長 木村 国夫
S45年経済学部経済学科卒

平成27年の駅伝は、出雲4位、全日本優勝の実績から、28年1月の箱根は、総合優勝だと確信して、27年12月に中越地区校友に標題にある案内状を郵送しました。

結果は、7分遅れの2位でしたが、1月30日(土)に、退職組の大壮年、現役組の壮年の男女24人が、久しぶりに坂之上の会場「彦乃」に集まりました。

33年卒の広川芳夫さんの発声で、久須美酒造の新酒で乾杯、色々な業界人やさまざまな趣味人からの、自己紹介、駅伝選手の事情、一部昇格を決めた野球、水球、すもうとスポーツの話から、グローバル大学

への進展や直近の「0」金利等々話題は尽きず盛会のうち、大学歌合唱、次回は総会で又会いましょうと、慣例の内田さんの一本締めで終了しました。



哲学者・堀秀彦先生を偲ぶ

S36年社会学部社会学科卒 星野 修美

「終着駅待合室」とは、いろいろな種類の老人ホームのことだという。

このじつに的を得た表現は、堀先生が名著「銀の座席」で用いた造語である。

銀の座席とは、1980年の約1年間、朝日新聞に連載された当時の老人問題を鋭く指摘した先生の名エッセーのことである。

このエッセーは当時、社会に大きな反響を呼び起こし、これがその後の老人対策にインパクトを与えたことは間違いないものと私は思っている。

東洋大学での先生の講義は、ことの本質を突いた名調子で、いつも迫力と説得力があった。学生は、一言も聞き漏らすまいと席取りを競った。先生はよくj・jルソーを取り上げ「エミール」で言われている「子どもは小さな大人ではない」という有名な言葉を引いて、教育の原理を判りやすく説いた。

その後、教育に関する仕事に従事することになった私は、終生これを金言として生かそうと努力した。

私も今年78歳となり、堀先生がこのエッセーを世に送った時と同じ年となった。今日、老人問題はますます混迷の度を深めている。それは、この問題を社会や制度のあり方として、つまり公的立場を重視しすぎることからくる結果ではないかと思っている。堀先生の問いかけは一貫して「無告の人」の側から個の立場を重視し、人間の悲哀と苦しみ、そして生きることの意味を徹底して追求している。先生

は生きることとは何か、老人とは何かについて熱を込めて語りかけ、そこに堀哲学の神髄を読み取ることができる。

東洋大学学長時代、先生は苦悩しながら職務に挑んだこともよく知られている。

集団と個人の関係については、はっきりと個人に軸足を置いて、ものの見方・考えかたを論じた。85歳で他界されるまで健筆の力は衰えず、特に80歳を超えてからの「死」についての論考は多くの人々の心を刺した。

銀の座席・現代に生きる古典など数冊の本を手元に置き、時々ページをめくる、それは至福のひとつときでもある。



中越地区平成28年度事業計画

1. 長岡米百俵祭
 - ・平成28年10月8日(土)
2. 第3回箱根駅伝祝勝会
 - ・平成29年
 - ・会費4,000～5,000円

下越だより

安吾忌、今年は講演会を再開し開催されました

校友であり、郷土の偉大な作家、坂口安吾の命日にあたる2月17日に新津安吾忌が開催されました。

当日は、6名の校友を含め、約50名の安吾ファンがかけつけてくれました。

新津安吾忌は今年で28回目になります。私ども東洋大学校友会は、第20回から仲間に入れていただき、大学の先生を招聘し、安吾の足跡や安吾文学の魅力などについて皆さんとともに学び、安吾の遺徳を偲んでまいりました。以下は、今年の安吾忌の開催報告です。

第一部の記念講演では、はじめに2月5日に亡くなった新津安吾の会の斎藤会長の冥福を祈り黙とうをささげました。



▲講演する山崎教授

続いて、新津安吾の会の土田代表、安吾の会の鈴木副会長、菊田まきこ衆議院議員がそれぞれ挨拶されました。挨拶のあと、東洋大学文学部の山崎甲一教授から、「クラクラ日記」と宮本武蔵像（「青春論」）、「風博士」「桜の森の満開の下」「青鬼の禪を洗う女」に及ぶ。と題して講演をいただきました。

山崎先生は、用意した安吾の作品資料を基に、恋人であった矢田津世子に対する安吾の思い、安吾と津世子の関係について説明してくれました。こうし

た作品の読み方もありと感心して聞き入りました。反骨精神にあふれ、時流に流されず、かつ、柔軟な考えができる安吾が、津世子に対しては、努力していない、しっかり向きあっていない。敵前逃亡ともとれる態度をとっている。と、一つの仮説として、山崎先生は、安吾の作品から読み解いてくださいました。



▲講演を熱心に聞き入る聴取者

質疑のなかで、いろんな作品を津世子を軸に説明したことへの感謝と理想の女性と結婚とは別で、安吾がより身近に感じられたとの意見が寄せられました。

講演の後は、坂口家の墓所で墓前祭が営まれ、浄明寺、前住職の藤井養正氏による読経と参加者が墓前に手を合わせました。墓前祭では、地元大安寺地区の自治会長をはじめ、安吾ファンが安吾への思いを語りかけました。



▲今年も墓前に校友会からの花が飾られました

墓前祭のあとは、懇親会で、杯を交わしながら、安吾の作品や安吾の人柄など楽しく語り合っていました。



大橋健一郎氏 (1995年3月、社会学部社会学科卒業) が県民会館において展示会を開催

大橋氏は、在学中の3年後期～4年前期の約1年間を交換留学生としてアイルランドのダブリンシティ大学で過ごしました。留学中は主に西部のアラン諸島の研究をしましたが、のんびりと昔ながらの生活を営む人々と、その生活を支える人々について研究するうちに、国、地域、ひいては個人の個性や文化について考えるようになりました。

卒業後は、出版・イベント会社で日本人芸術家を世界各国で紹介し、イタリア駐在も経験。

2014年には画商「ガレリアチェレステ」として独立開業。イタリア語でガレリアは画廊、チェレステは空の意味です。空のように開放的で魅力ある芸術作品を紹介していきたいと考えているそうです。

これまでに展示会は3回開催しており、9月には長岡と新潟で開催予定。

興味のある方、店舗などに絵画の展示などを考えている方は、下記にご一報下さい。

大橋 健一郎
ガレリアチェレステ
〒950-2162 新潟市西区五十嵐中島2-13-4
Tel&Fax : 025-378-4051
携帯 : 080-3019-2183
E-mail: info@galleriaceleste.com
HP: www.galleriaceleste.com



▲来館者説明をする大橋氏 (奥)



▲展示会場で作業をする大橋氏